

研究構想シート		学校名	出雲市立長浜小学校
		氏名	船木祥子
A 研究主題 自分の思いや考えをもち、ともに学びを深めようとする子どもの育成～国語科の授業を通して～			
B 研究の目的 「自分の思いや考えをもち、ともに学びを深めようとする子ども」の育成をするための国語科の授業づくりの在り方を究明する。			
C 子どもの実態 本校は、同学年の児童をはじめ異学年の児童とたくさんかわりながら、学習や活動ができる良さがある。全体的に素直さ、子どもらしさがあり、友達に優しくかわることができる児童が多い。また、初めてする活動や学習に対して、興味をもちやすく、前向きに取り組むことができる。	E 手立て・内容（研究仮説） ・興味関心を高めるような単元構想や学習形態を工夫すれば、主体的に学びを深めようとする子が育つであろう。 ・対話の必要性がある課題設定をすれば、その対話を通して学びを深める子が育つであろう。 ・観点を意識して、友達同士で、表現のよさを伝え合ったり、アドバイスをしたりする場を設定すれば、ともに伸びていく子が育つであろう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> (1) 日々の授業づくり（単元構想、学習形態の工夫、課題設定の工夫） (2) 基盤づくり ①集団づくり（アンケートQ-U、だんだんタイム、なかよし班活動） </div>	D めざす子どもの姿 学校教育目標は「目標に向かって挑戦し励まし合いながら未来を生きぬく子どもの育成」である。この実現に向け、重点目標として「自ら考え 行動できる力を育成すること～えがお・げんき～」を掲げている。 本研究では、この重点目標を具現化するために進め、以下の子どもの育成を目指す。 ○自分の思いや考えをもち、進んで表現する子。 ○自分の思いや考えを伝えるように、工夫して表現する子。 ○友達と互いの思いや考えを知ろうとする中で、協力し合い、解決する子。	
しかし、学習面の状況では、話をしっかりと最後まで聞くことが苦手で、聞きもらしや聞かずにいて、違うことをすることが多い。また、書くことが苦手で、自分の考えを表現することが難しい。さらには、語彙が少なく、自分の考えを伝える力も弱い。全体的に基礎的な学力が身につけておらず、既習事項を活用して、新たな課題を解決することも難しい児童が多い。	F 検証方法 (1) 授業づくり ・授業中の児童の様子やワークシート、ノート等で、児童の変容を見取り、評価を行う。 ・国語科の授業公開、研究協議を行い、研究の具体仮説に関する取組を分析、評価する。 ・学力・学習状況調査の結果を分析し、実態把握を行う。 (2) 基盤づくり ・アンケートQ-Uやだんだんタイムの振り返りの分析を行い、集団への関わり方や意識の変容をとらえる。 ・教職員による評価により、児童の様子の把握や変容を見取る。		
このような実態を受け、今年度は全ての学習の基盤となる国語科の授業づくりを究明することで、自分の思いや考えをもち、ともに考えをもち、ともに学びを深めようとする児童の育成を目指す。	G 研究計画 1. 教職員の事前アンケート調査（児童の実態把握をする。） 2. 自分の思いや考えをもち、ともに学びを深めようとする子どもを育成するための授業づくりをする。（日々の授業実践、公開授業、研究協議） ①単元構想の工夫②学習形態の工夫③対話の必要性のある課題の設定 3. 自分の思いや考えをもち、ともに学びを深めようとする子どもを育成するための基盤づくりをする。 （集団作り）①アンケートQUの取り組み②だんだんタイムの実施③（言語環境づくり）①図書館活用②ICT活用③言語環境づくり 4. 校内研修（出前講座の実施、学力・学習状況調査の分析、QU分析） 5. 教職員の事後アンケート実施（児童の様子の把握や変容の見取りをする。）		